

---

---

---

---

# CentreCOM® 8312 リリースノート

---

この度は、CentreCOM 8312をお買いあげいただき、誠にありがとうございます。  
このリリースノートは、付属のマニュアルに記載されていない内容や、ご使用前にご理解  
いただきたい注意点など、お客様に最新の情報をお知らせするものです。  
最初にこのリリースノートをよくお読みになり、本製品を正しくご使用ください。

---

## 1 ソフトウェアバージョン

Version 5.10p12 (LFSW510p2)

---

## 2 機能サポート範囲

下記の項目は、現在未サポートとなっています。あらかじめご了承ください。

ポートミラーリング機能の<Destination Snoop>パラメータ「marked」

IPX MIB

Apple Talk MIB

筐体監視機能

CentreCOM Web for 8312 エキスパート設定の下記項目

- ・ FMU MIB Parameters
- ・ Server Access Parameters
- ・ SMTP Parameters
- ・ Syslog Parameters
- ・ Status Monitoring Parameters
- ・ STP Topology Change Parameter (Spanning Tree Parameters内)
- ・ AppleTalk Zone Filter (AppleTalk Router Parameters内)
- ・ AppleTalk RTMP Filter (AppleTalk Router Parameters内)

～ は、Version 3.12p12からVersion 5.05へのバージョンアップの際に追加されました。

---

## 3 取り扱い上のご注意

工場出荷時設定に戻す際の注意点

ロータリスイッチを「C」に設定して電源を投入した時は、必ずステータスLED0～7がすべて点灯するのを確認してから電源を切断してください。

ステータスLED0～7が点滅している間(約10秒間)に電源を切断してしまうと、フラッシュメモリ上のデータが破壊されるため、装置が起動できなくなります。

---

## 4 本バージョンでの修正項目

本バージョンでは、前バージョン（Version 5.05）から下記の項目が修正されました。

IPフィルタリングの条件設定で、送信元/宛先IPアドレスのみを中継し、特定のプロトコルのみを廃棄するという設定を行った場合に、プロトコルを廃棄するフィルタが動作しなくなる問題を修正しました。

CentreCOM Web for 8312のエキスパート設定 VLAN Parameters内 VLAN Interfaceにおいて、パラレルリンクが設定されている2つのポートが、1つのポートとしてではなく、別々のポートとして表示されてしまう問題を修正しました。

スパニングツリーにおいて、本来 NewRoot Trapが送信されるべきところで、NewRoot Trapが送信されずに、Topology Change Trapが送信されてしまう問題を修正しました。

---

## 5 Version 5.05で追加された項目

Version 3.12pl2からVersion 5.05へのバージョンアップにおいて、下記の機能が追加されました。

CentreCOM Web for 8312のエキスパート設定 VLAN Parameters内 VLAN Interfaceで、Interface Nameをラジオボタンで一度に複数選択することが可能になりました。

---

## 6 制限事項

コンソールを使用中は、Telnetからログインすることはできません。また、Telnetを使用中は、コンソールからログインすることはできません。

プロトコルベースVLANからポートベースVLANにモードを変更する場合、またはその逆の場合、構成定義の内容が大きく変更されるため、再起動でエラーになる可能性があります。

このようなVLANモードの変更を行う場合は、新規の構成定義ファイルとして定義し直すようにしてください。

パラレルリンクの一方から他方への端末（ホスト）移動は学習情報エージアウト時間内（デフォルト=5分間）は行うことができません。エージアウト時間内は、端末（ホスト）移動を行わないようにしてください。

複数のWWWブラウザから構成定義設定操作を行うと、一方がcommitした時点で他のWWWブラウザが設定した内容まで反映されてしまいます。複数のWWWブラウザからの操作は行わないようにしてください。

CentreCOM Web for 8312のセットアップウィザードにおいて、VLANのIPアドレスを削除し、そのIPアドレスと同一サブネットのアドレスを別のVLANに付与すると、後に付与したIPアドレスを使用してCentreCOM 8312に接続できない場合があります。このようなパラメータ変更を行った場合は、機器の再起動を行ってください。

Interface Group MIB-ifAdminStatus (1.3.6.1.2.1.2.2.1.7) のSet-Requestでは、10/100Mbps Ethernet物理インターフェースの状態をup (1) あるいはdown (2) に設定することが可能です。なお、その他の種別のインターフェースに対するSet-Request、および10/100Mbps Ethernet物理インターフェースに対するtesting (3) のSet-Requestはエラーとなります。

RIP2ではAggregation (ルーティング情報の集約) を行いません。このため、RIP2で、V1互換モードでもV1形式の要求パケットに回答しません。ただし、V1形式の広告パケットは取得するので、CentreCOM 8312のルーティング情報には反映されます。

RIP2でRIPフィルタのListen = on, Supply = offとするとRouting広告を受信しても、ルーティングテーブルへ情報を反映しません。

RMON Managerの種別によっては、連続してAlarmEntryの削除を行うと、まれにSNMP Agentが停止してしまう場合があります。

HistoryEntry、AlarmEntry、EventEntryのModifyができません。

HistoryEntry、AlarmEntry、EventEntryのIntervalを30秒の倍数以外に設定しても、その値より大きい直近の30秒の倍数に変更されます。

パラレルリンクモードを設定した場合、構成定義ファイル (current.cfg) に、古いVLANとポートの割り当て情報が残ってしまう場合がありますが、実際の動作に影響はありません。パラレルリンクで割り当てたVLANとして正常に動作します。

---

## 7 CentreCOM Web for 8312使用上のご注意

WWWブラウザソフトは、Netscape Navigator 3.0以上、Internet Explorer 4.0以上をご使用ください。

セットアップウィザードを使用する場合は、WWWブラウザに付属している「戻る」や「進む」などの機能は使わないでください。  
また、キャッシュは「しない」に設定してください。

HTTP-SNMP GatewayでのMIB表示において、300件以上のルーティングテーブルMIB (ipRouteTable) を獲得しようとする、WWWブラウザが終了することがあります。

Netscape Navigatorを使用して、CentreCOM Web for 8312からソフトウェアのアップロード「Firmware」や、構成定義ファイルのアップロード「Restore」を行うとき、ファイルを日本語ディレクトリの下に指定すると転送が行われません。  
(例: C:¥デスクトップ¥FSW210p3.FTM)

